

令和元年度 第63回茨城県稲作共進会開催要綱

1 趣 旨

この共進会は、米穀需給の動向に対応し、産米の安定生産や品質向上及び生産コストの低減、安心安全への配慮等を実践している稲作農家・優良な稲作経営体の育成と県産米の品質改善等に寄与することを目的とする。

なお、この共進会は全国農林水産祭参加行事として開催する。

2 主催ならびに後援

主 催 公益社団法人 茨城県農林振興公社

後 援 茨城県・関東農政局

3 申込資格

(1) 農 家（個人）

- ・ 稲作を概ね1ha以上を耕作する農家。（採種ほは除く）
- ・ 奨励品種（準奨励品種・認定品種を含む）の作付比率が50%以上の農家。
- ・ 生産技術の改善等によって安全安心に配慮しつつ生産性が優れている農家。

(2) 集 団

- ・ 3戸以上で稲作を概ね5ha以上を耕作する稲作生産集団。（生産部会・研究会は除く）
- ・ 奨励品種（準奨励品種・認定品種を含む）の作付比率が50%以上の集団。
- ・ 生産技術の改善等によって安全安心に配慮しつつ生産性が優れている集団。

(3) 産米改良に意欲的に取り組み審査規程に基づく資料の提出に応じかつ、現地調査等にも積極的に協力し得る農家及び集団。

(4) 主食用米の生産数量目標協力者であること。

4 参加申込及び推せん・審査

(1) 共進会に参加しようとする農家は、審査書類の該当項目を記入し、申込書を農林事務所 経営・普及部門又は農業改良普及センターに提出する。

(2) 農林事務所 経営・普及部門又は農業改良普及センターは、地域毎推せん点数に基づく農家及び集団について、共進会に推せんする。（別紙申込書及び調査票による）

県北5点、県央10点、鹿行5点、県南10点、県西10点 計40点

(3) 審査は、別に定める県審査規程により、県審査会において審査する。

5 表彰

優秀な農家及び集団について最優秀賞，優秀賞，優良賞及び特別賞を授与する。
特に，成績優秀なるものに対しては，農林水産大臣賞に推せんする。
但し，最優秀賞を授与後3年間は，重ねて最優秀賞は授与しない。

6 日程

- (1) 募集開始 令和元年10月1日(火)
- (2) 参加申込み
(農家→農林事務所 経営・普及部門又は農業改良普及センター)
令和元年10月15日(火)
(農林事務所 経営・普及部門又は農業改良普及センター→共進会長)
令和元年10月31日(木)
- (3) 表彰
令和2年2月21日(金) 予定

審 査 規 程

- 1 茨城県稲作共進会の審査はこの規程により行う。
- 2 本共進会の審査を行うため審査会をおく。審査会は審査長、審査員をもって構成し、共進会長が委嘱する。
- 3 審査は、農林事務所 経営・普及部門又は農業改良普及センターから推せんされた地域代表に対し、書類審査及び現地審査を行う。
但し、審査細則については別に定める。
- 4 審査会は、審査提出書類並びに現地審査において虚偽の申告あるいは不正等がなされた場合は審査を中止し、失格とすることができる。
- 5 審査会の決定に対しては一切の異議申立てを認めない。

審査細則

書類審査による審査対象項目と配点（230点）

(1) 令和元年産水稻作付面積（借地面積含む）	20
(2) 令和元年産水稻作付面積に対する奨励品種の作付比率	10
(3) 省力化・低コスト技術への取組み	20
(4) 作業受託面積	10
(5) 令和元年産米受検数量に対する1等の占める比率	30
(6) 10 a 当たり収量	20
(7) 安全・安心への取組み	30
(8) 高品質米生産への取組み	30
(9) 品質評価	50
(10) 産米改良に対する対応状況	10
計	230

- ・ 米を複数品種栽培している場合、「田植え期間」及び「品質評価」は、作付面積が最も大きい品種について審査する。
- ・ 「品質評価」の分析のため、玄米 0.5kg を提出する。

審 査 配 点 基 準

1 令和元年産水稲作付面積（借地面積含む・新規需要米含む）（20点）

水 稲 作 付 面 積	点 数
35ha以上	20
25～35ha未満	18
15～25ha未満	16
10～15ha未満	12
5～10ha未満	8
1～5ha未満	4

2 奨励品種の作付比率（新規需要米除く）（10点）

作 付 比 率	点 数
100%	10
90～100%未満	5
50～90%未満	3

3 省力化・低コスト技術への取組み（20点）

項 目	内 容
育 苗	作期の分散, 育苗管理（プール育苗, 平置育苗, 密苗育苗等）の工夫
ほ 場 整 備	レーザーレベラーの導入, 農地中間管理機構を活用した農地の集積
施 肥	苗箱施肥, 側条施肥, 流込み施肥
植 付	直は, 高性能田植機等の導入（8条以上）
雑 草 防 除	田植同時処理・水口施用
病 害 虫 防 除	田植同時処理・乗用管理機
乾 燥 調 製	ライスセンター・カントリー等の利用
そ の 他	特に審査員が認めたもの（ICT技術の活用）

4項目以上該当 20点
 3項目該当 15点
 2項目該当 10点
 1項目該当 5点

（注）無人航空機を個人又は共同で所有し利用しているを「その他」でカウントする。

4 作業受託延面積 (10 点)

受 託 面 積	点 数
100ha 以上	10
50～100ha 未満	5
10～ 50ha 未満	3

5 受検数量に対する 1 等の占める比率 (30 点)

1 等 比 率	点 数
100%	30
90～100% 未満	20
80～ 90% 未満	10

6 10 a 当たり収量 (20 点)

コ シ ヒ カ リ		コシヒカリ以外の品種	
収 量	点 数	収 量	点 数
550kg 以上	12	520kg 以上	20
520～549kg 以下	16	480～519kg 以下	16
500～519kg 以下	20	480kg 未満	12
480～499kg 以下	16		
480kg 未満	12		

(注) 複数品種栽培している場合、作付面積が最も大きい品種について審査する。

7 安全・安心への取組み (新規需要米除く) (30 点)

評 価 基 準	点 数
種子更新率100%	10
90～100% 未満	5
GAP の取組	10
特別栽培米・有機JAS認定取得	5
エコファーマーの認定取得	5

8 高品質米生産への取組み (30点)

評 価 基 準	点 数
コシヒカリ 5月5日～20日の田植 あきたこまち 4月20日～30日の田植 ふくまる 4月21日～5月20日の田植 作付面積80%以上	10
70～80%未満	8
60～70%未満	5
受検比率90%以上	10
80～90%未満	8
70～80%未満	5
グレーダー網目1.85mm以上	5
色彩選別機による選別	5

(注) 複数品種栽培している場合、田植時期について作付面積が最も大きい品種について審査する。

9 品質評価 (50点)

評 価 基 準	点 数	
千 粒 重 (15)	22.0g以上 (水分15%換算値)	15
	21.5～22.0g未満 (同上)	10
	21.0～21.5g未満 (同上)	5
玄米水分 (10)	14.5～15.0%	10
玄米粗タンパク (10)	6.4%以下 (水分15%換算値)	10
食 味 値 (15)	80点以上	15
	75～80点未満	10
	70～75点未満	5

- (注) 1 玄米水分については、受検時の数値を用いる。
 2 千粒重及び玄米粗タンパクについては、水分15%換算値で評価する。
 3 複数品種栽培している場合は、作付面積が最も大きい品種について評価する。

10 産米改良に対する対応状況 (10点)

産米改良技術向上研修会・講習会等の参加又は開催

申 込 書

令和元年 月 日

第 63 回茨城県稲作共進会長 殿

(申込者)

〒

住所

(ふりがな)
個人名又は集団名

印

代表者名

電話番号

本共進会の趣旨に賛同し、下記書類を添えて申込みます。

なお、審査会の決定に対しては一切異議申立てをしません。

記

1 申 込 部 門

個 人 の 部

集 団 の 部

2 水稲作付状況 (借地面積・新規需要米含む)

区 分	奨 励 品 種				その他の品種		合 計	奨励品種作付率
品種名	コシヒカリ			小 計 (A)			(B)	(%) (A / B)
面積 (a)								

※奨励品種名：コシヒカリ，ゆめひたち，キヌヒカリ（認），チヨニシキ，ひとめぼれ（認），ひたち錦，マンゲツモチ，あきたこまち（準），ふくまる（準），一番星（認），あさひの夢（認），ミルキークイーン（認），ココノエモチ（認）

稲作経営栽培状況調査表

(ふりがな)
申込者氏名

1 経営状況 (借地を含む)

農業経営の実耕作者の氏名と概要	耕地面積 (借地面積)	水田 (ha)	畑 (ha)	転換畑 (ha)	計 (ha)	
	農業就業者	男 人	女 人	計 人		
	農業粗収入に占める米の割合 (平成 30 年度) %					
	農業における現金収入順位 1 2 3					
	氏 名	面積	氏 名	面積	氏 名	面積
		ha		ha		ha
					合 計	

○氏名, 面積欄は, 集団のみ記入する。

2 栽培作業受託面積

	育苗	耕起	施肥	代掻き	田植	防除	収穫	乾燥	調製	出荷	計
受託面積 (ha)											
作業時間											

3 代表ほ場耕種概要

項目 作業名	実施時期	使用量	使用機種名	保有の有無	機械使用時間
土壌改良					時間
耕起					時間
					時間
代掻					時間
					時間
基肥		N - P - K kg			
田植		10 a 箱			時間
管理	除草剤 散布	初期	薬剤名 kg		
		中期	薬剤名 kg		
	追肥	N - P - K kg			
	中干し				
	防除	薬剤名		時間	
収穫・脱穀					
乾燥・調製					

項目	期 日	面 積
品種名 の田植え		

・複数品種栽培している場合, 作付面積が最も大きい品種について記載する。

4 省力化・低コスト技術への取組み

項目	内容 (具体的に記入して下さい)	
	省力化・低コスト化	安心・安全対策
育苗		
ほ場整備		
施肥		
植付		
雑草防除		
病虫害防除		
乾燥・調製		
その他		

5 令和元年度検査等級結果

(単位：袋／30kg)

区分	奨励品種					その他の品種		合計	
					小計				
1等 (玄米水分%)	()	()	()	()	()	()	()	()	A
2～3等 (玄米水分%)	()	()	()	()	()	()	()	()	1等 (%) (A/B)
等外 (玄米水分%)	()	()	()	()	()	()	()	()	
合計								()	B

6 令和元年産受検比率

(単位：袋／30kg, %)

総収量 (A)	受検数量 (B)	受検比率 (B/A)
袋	袋	%

7 10a 当たり収量 kg

$$\frac{\text{総数量 (kg)}}{\text{作付面積 (a)}}$$

8 安心・安全への取組み

1) 種子更新状況

項目 年次	奨励品種 作付面積 A	1ha 当たり 種子播種量 B	奨励品種 種子使用量 C (A × B)	左のうち 種子購入量 D	種子更新率 D/C
令和元年					

2) グレーダー網目 1.85mm 以上 (以下について該当項目に○印をつける。)

実施 実施していない

3) 色彩選別機による選別

実施 実施していない

4) 特別栽培米・有機 JAS 認定取得

実施・手続き中 確認・取得していない

5) エコファーマーの認定

実施・手続き中 確認・取得していない

6) GAP の取組

取り組んでいる 取り組んでいない

9 令和元年産米改良の諸対策・産米改良研修・講習会の参加又は開催

研修・講習会名	開催日	参加者数	講師名	主催団体名

(別紙)

水稻収量調査(確認)書

令和元年 月 日

出品者氏名

地域農業改良普及センター

担当者氏名

印

収量調査の結果、下記のとおり確認いたしました。

令和元年産米の収量

区分	品名	奨励品種				その他の品種		平均
		奨	励	品	種			
作付面積 (a)								
10 a 当たり収量 (kg)								
総収量 (kg)								

注 ① 当該普及センターにおいては、収量調査が適正に実施されたかを確認すること。

② 品質評価のため、玄米 0.5kg を添えて提出する。複数品種栽培している場合、作付面積が最も大きい品種を提出する。